

1 学校経営の基本構想及び学校教育目標

雄飛学園教育構想

元気あふれる学校

《めざす15歳の姿》

- 基礎学力を身に付け、自分の進路目標に向かって真剣に努力する。
- 倫理観、社会常識を身に付け、正しい判断力を持ち行動する。
- ふるさとに誇りと愛着をもち、社会の一員として自立しようとする。

金立小学校教育目標

令和7年度

志高く 心豊かに 学ぶ金立

夢や希望を高くもち、その実現に向け、かしこく、やさしく、たくましく学び、ふるさとを愛する子どもを育てる学校（教職員、地域）

めざす子ども像（このような子どもを育てます）

かしこい子

課題を「自分事」として捉え、他者と関わりながらよく考え、よりよい判断をしようとする児童

やさしい子

感性が豊かであり、多様な価値を認め、自他を大切にすることができる児童

たくましい子

心身の健康を心がけ、元気で生き生きと活動し、粘り強く取り組むことができる児童

ふるさとを愛する子

ふるさとに誇りをもち、地域との関わりを大切にできる児童

めざす学校像（このような学校をめざします）

- ・笑顔があふれ、子どもも教師も自ら学び、自ら考え、共に成長する学校
- ・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を通して、子どもに確かな学力を身に付ける学校
- ・豊かな人間関係を育み、自他の心身の健康と成長を大切にし、安全・安心に過ごせる学校
- ・地域に信頼され、地域・家庭とともに子どもを育てる学校
- ・ふるさとの自然・文化を大切にし、ふるさとを愛し誇ることができる子どもを育てる学校

めざす教師像（このような教師であり続けます）

- ・高い倫理観、使命感、人権意識、教育的愛情をもち、規律を遵守することができる教師
- ・子どものよさを引き出し、自己肯定感・自己有用感を高めることができる教師
- ・子どもの学びをよりよく育むために、自らの指導や授業を不断に見直すことができる教師
- ・同僚性をもって協働し、目標実現のための自らの役割を自覚して職務を全うすることができる教師
- ・子どもや保護者との信頼関係を構築し、地域・家庭との連携を図ることができる教師

2 令和7年度の重点目標（本年度はこれらに力を入れて取り組みます。）

【今年度のテーマ】

『みんなで 自分らしく 輝く』

- ## (1) めざす子ども像の確かな実現

- ・ **かしこい子** 学力の向上

⇒校内研究の充実と授業の質的改善、学習規律と学習習慣の定着、読書の質と量の充実 等

- ・ やさしい子 ・ ・ ・ ・ ・ 心の教育

⇒自他を大切にする心の育成、いじめの未然防止と積極的認知、規範意識・判断力の育成

児童養護施設との連携による児童支援、不登校の解消と未然防止、キャリア教育の推進 等

- ・ **たくましい子** 健康・体づくり

⇒運動習慣の定着と体力向上、食育（給食）、落ち着いた学校生活、感染症の予防 等

- ・ ふるさとを愛する子 地域連携教育

⇒コミュニティ・スクールが機能する学校づくり、地域人材の積極活用、地域行事への積極的な参画

- ## （２）特別支援教育の充実・・・個々の児童の「困り感」に寄り添った教育の実現

⇒教員の児童理解能力と支援スキルの向上、個別の支援計画、特別支援学級増設への積極的対応

通常学級における配慮の充実

- (3) 働きやすい職場環境づくり（業務改善・教職員の働き方改革の推進）

- #### (4) 地域・保護者に開かれた学校づくり

【各目標の関連イメージ図】

- (1) めざす子ども像の確かな実現

- ・かしこい子 学力向上
- ・やさしい子 心の教育
- ・たくましい子 健康・体づくり
- ・ふるさとを愛する子 地域連携教育

- ## (2) 特別支援教育の充実

(個々の児童の「困り感」に寄り添った教育の実現)

(3)(4)の目標は、(1)(2)のいずれの目標実現のプロセスにおいても、常に意識して取り組み、実現していくための目標と捉える。
したがって、(1)(2)の重点目標に取り組む際に、常に以下の5点を意識して取り組むこととする。

- ・ 人間関係の質の更なる向上
- ・ 目指す方向性や必要な情報の見える化・共有化
- ・ 業務の効率化・適正な勤務時間の管理
- ・ 業務の質の維持・向上
- ・ 取り組んでいることの情報発信

(3) 働きやすい職場環境づくり

(4) 地域・保護者に開かれた学校づくり

●は令和7年度の最重点取組

重点目標	重点取組の内容
目指す子ども像の確かな実現	学力の向上 ・全職員による共通理解と共通実践 ⇒学力向上対策シートを活用した共通実践 ●校内研究の充実と授業の質的改善 ⇒「金立小授業づくりチェックシート」を活用しての授業の不断の見直し ・学習規律と学習習慣の定着 ⇒改訂「金立小学校 学習の約束」の徹底と家庭学習充実に向けての取組 ・児童の読書の質・量の向上 ⇒魅力的な図書室環境づくり、多読賞奨励、ビブリオバトルの継続・発展 ・一人一台学習者用端末のツールとしての効果的活用 ⇒学力の向上に資する活用の工夫と情報活用能力の育成 ⇒学習者用端末の持ち帰りを有効化するための手立ての工夫
	心の教育 ・児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ⇒人権意識を高めるための人権集会の充実と道徳科の授業実践 ・いじめの未然防止と積極的認知による組織的・継続的な対応 ⇒「心のアンケート」実施と子ども支援会議における情報共有 ・望ましい生活習慣の確立と規範意識・判断力の育成 ⇒「金立スタンダード」の継続と徹底、「暮らしのルールブック」の活用 ●不登校の解消と未然防止の取組 ⇒Web「Q-U」結果の効果的活用、委員会活動等を通じた自己有用感の育成 ⇒不登校児童とその保護者へのサポートのための関係機関との連携強化 ・児童が自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進 ⇒キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の推進 ●児童養護施設「聖華園」との連携による児童支援 ⇒担任及び学校とホーム担当者との綿密な連携体制の構築
	健康・体づくり ・運動習慣の定着と体力向上 ⇒「さわやかタイム」（縦割り活動）の実施等による外遊びの奨励 ●望ましい食習慣や生活習慣の形成 ⇒給食を通じた食育の充実 ⇒オンラインゲーム等ネット利用やSNS利用の情報モラルの指導強化 ・落ち着いた学校生活と感染症等への適切な対応 ⇒校内での過ごし方の意識向上と感染症に対する理解促進・適切な予防
	地域連携教育 ●コミュニティ・スクールが機能する学校づくり ⇒C Sにおける地域と学校との連携を図った教育課程の編成 ・教育活動における支援ボランティアとの連携・充実 ⇒地域人材の積極的な活用と地域ボランティア団体等との連携

特別支援教育の充実	・教職員の児童理解能力・支援スキルの向上と組織的支援 ⇒効果的な研修の実施等による教員の資質向上と学校生活支援員、特別支援学級支援員との連携強化による要支援児童への組織的支援体制づくり ●<u>個別の支援計画・指導計画を基にした組織的・継続的な指導</u> ⇒定期的な支援委員会の開催と適時・適切な情報共有 ⇒支援計画の共有による特別支援学級支援員、学校生活支援員との連携強化 ⇒知的障害学級の増設など、特別支援学級増への適切な対応 ⇒特別支援学級の授業時数や授業内容の「見える化」と特別支援学級間及び交流学級との連携強化 ・通常学級における配慮 ⇒通常学級における「困り感」のある児童への支援とユニバーサル・デザイン的な発想による取組の充実 ・金立特別支援学校との交流活動 ⇒交流体験活動を通じた実感を伴う特別支援教育への理解啓発
働きやすい職場環境づくり	・人間関係の質の更なる向上 ⇒金立小学校教職員の行動指針として、講話や「校長だより」等での周知 ・目指す方向性や必要な情報の見える化・共有化 ⇒講話や「校長だより」等での周知・確認 ・業務精選・効率化の推進及び適正な勤務時間の管理 ⇒定時退勤日（金曜）の設定と推進強化 ⇒退勤時刻を意識した業務遂行 ⇒地域の力を借りた時間外勤務軽減の取組 ・業務の質の維持・向上 ⇒目的・効果等を常に確認しながらの業務遂行 ●<u>職場における危機管理意識の向上</u> ⇒実効性が高い「ゼロの日」の実施や職員研修の実施 ⇒管理職による「知識」と「意識」を押さえた具体的な指導・注意喚起 ⇒お互いに気付き、感じて、声を掛け合うことができる風土の醸成
地域・保護者に関わった学校づくり	●<u>学校が取り組んでいることの情報発信</u> ⇒学校ホームページにより適時な学校情報の発信、「学校便り」や「学級通信」等の各種便りによる学校の取組、児童の頑張りなどの情報発信 ⇒学校ホームページの周知及び二次元バーコードの活用などによる学校ホームページの閲覧数の増加 ・地域の会合や行事等への参加と学校情報の発信 ⇒金立まちづくり協議会、自主防災会等の会合への参加と学校情報の提供・各種連携・協力 ⇒金立まちづくり協議会子ども育成部会、青少年健全育成会との積極的連携による地域行事の開催

3 金立小学校がめざす子ども像の具体について

かしこい子

授業はもちろん、学校や家庭などで出合ういろいろな課題や問題を「自分の事」として捉えることができ、一人で考えるだけでなく、友達や家族、先生などとも進んで関わりながら考え、自分やみんなにとってのよりよい判断をしようとする子ども（児童）

やさしい子

美しいものを見て、「きれいだな」と感じることができたり、頑張っている友達を応援してあげたり、困っている友達に気付いて声をかけてあげたりするなど感性が豊かであり、自分の周りにいるいろいろな人との違いやよさを大切にし、自分のことも周りにいる人たちのことも大切にすることができる子ども（児童）

たくましい子

規則正しい生活を送り、感染症予防などをきちんと行い、自分やまわりの人が危なくなるようなことはしないなど、体や心がいつも健康であるように気を付け、いつも元気で生き生きと活動し、何事も最後まであきらめないうで、粘り強く取り組むことができる子ども（児童）

ふるさとを愛する子

みなさんのふるさとである金立町のよさやすばらしさに気付き、誇りをもっており、地域のいろいろな人との関わりを大切にして、学校外でも進んであいさつをしたり地域の行事などに参加したりすることができる子ども（児童）

このような子どもを家庭・地域と連携しながら育てていきたいと思っています。

金立小学校で取り組んでいること、金立小学校の子どもたちや先生方の頑張り、校長としての考えなどは、学校便りや学校ホームページを通して、できるだけタイムリーにお伝えしていきます。

ぜひ、お気軽にご覧ください。



学校 HP もご覧ください

4 令和7年度 金立小学校 地域連携・協働に係る教育課程について

(1) 金立町ふれあい運動会について

○金立町ふれあい運動会については、今年度も地域（金立まちづくり協議会）と学校との協働による開催とする。

- ・令和7年度は9月28日（日）に予定
- ・開催時間や種目数等は令和6年度と同等程度とする。
⇒地域種目4種目 14時終了目安
- ・地域種目には児童が参加できる種目を増やして「ふれあい」が豊かになるように学校からも内容の検討に参画する。（教育的な配慮の面でも必要）

(2) 金立郷土かるたの位置付けについて

○金立郷土かるた大会の実施についてはこれまで通りに、金立まちづくり協議会子ども育成部会の主催で、土曜日の午前中に金立小学校体育館でエントリー制により実施する。

- ・令和7年度は12月13日（土）に予定
- ・名人コース、お楽しみコースにエントリーする児童
⇒目標 124名（全校児童の半分）以上
- ・自由参加の枠を広げ、実施方法などもゆるやかにして幅広く楽しめるようにする。
- ・教育課程での位置付けについては、低学年の生活科や総合的な学習における郷土学習の中に位置付けるとともに、昼休みなども子どもたちがかるとに進んで取り組むような気運を醸成する。
- ・昨年度、参加した児童への聴き取りを行うなどして、児童の視点で、もっとみんなが参加したくなるかるた大会にするためのアイデアを募集し、まちづくり協議会子ども育成部会にも情報提供をする。



(3) 運営協議会委員の学校参観について

○基本的に、学校の授業参観等については、学校運営協議会委員にも別途、案内をする。

月日	時間	内容
6月8日（日）	8:15～12:00	佐賀市一斉フリー参観デー
10月23日（木）	9:15～11:00	全日本音楽教育研究会全国大会
10月28日（火）	時間未定	佐賀市教育委員会 学校訪問
11月20日（木）	13:45～15:20	雄飛学園授業参観

※通常の授業参観については、保護者の参観が多く、十分な参観ができないことが多い。しかしながら、これまで通り、案内はさせていただくので、ご無理のない範囲でご参観いただきたい。【次回：令和7年1月30日（金）】

○その他の学校参観

- ①第2回以降の学校運営協議会の開催前に、参加は任意として、5時間目の授業の様子や学校施設全般等についての参観ができる時間を設定する。
- ②卒業式、入学式等の学校行事（儀式的行事）については、学校運営協議会委員を来賓として招待し、児童の様子等を参観してもらう。
- ③ふれあい文化祭、地域の方ありがとう集会などの学校行事（文化的行事）については、学校運営協議会委員にも案内をし、児童の活動の様子を参観してもらう。
- ④授業参観時などはその都度、簡単な評価票などを準備し、必要に応じて記録してもらうこととする。（様式については後ほどお示しします）

(4) 学校行事・地域連携行事について

項目	備考
ふれあい運動会	金立まちづくり協議会との共催（提案1の通り）
ふれあい文化祭	学校主催（保護者・地域への参観案内）
金立町少年の主張大会	金立町青少年健全育成会主催（学校全面協力）
金立郷土かるた大会	金立まちづくり協議会子ども育成部会主催 （学校全面協力：提案2の通り）
その他	・校区一斉ラジオ体操 ・はがくれの里まつり ・美化美化大作戦(年3回) ・上記以外の、まちづくり協議会が主催する行事 ⇒これまで通り、学校として児童・保護者への広報を行い、協力する

